

教科（科目）	保健体育（体育）	単位数	3単位	学年 （コース）	1学年 （普通科）
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する。</p> <p>① 「深慮にして実践」「誠実にして勉励」「和親にして敬愛」の教育目標の下、物事に主体的に取り組む姿勢を育成する。</p> <p>② 自身の健康を保ちつつ、社会的な自立を目指し、多様性を尊重しながら、他者と協働して取り組む力を育成する。</p> <p>③ 教科横断的な視点を持ち、様々な学習活動をとおして創造力、行動力、コミュニケーション能力を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。</p> <p>① 生徒一人ひとりの目標や進路希望が実現できる教育課程を編成し、教育活動を展開する。</p> <p>② 3年後の進路を見据えた学力の定着と活用に向け、ICT機器を活用するなどして、主体的・対話的で深い学びと探究的な学習を行う。</p> <p>③ 自己の在り方生き方を探究するため「総合的な探究の時間」を主軸に、課題発見・解決、自己表現の育成に取り組む。</p> <p>④ 様々な状況や環境に対応し自己の力を向上させるためボランティア活動やインターンシップ、外部検定試験など生徒が自ら挑戦できる機会となる情報を積極的に提供する。</p> <p>⑤ 学校行事や部活動などの生徒の主体的な活動の支援に向け、安全・安心な教育環境に努める。</p>

2 学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。



3 指導の重点

- ① 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動の多様性や体力の必要性について理解を深めるとともにそれらの技能を身につけさせる。
- ② 各自の目標についての課題を発見し、解決に向け思考・判断するとともに他者に伝える能力を養わせる。
- ③ 主体的に運動することを心がける中で、公正に取り組み、他者と違いを理解しながら、健康・安全に留意した態度を身につけさせる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

5 評価方法

各観点における評価方法は次とおりです。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 技能の習得状況の観察 ・ ルールの理解状況の観察 ・ 技能テスト ・ 学習カードの記述の分析 ・ レポート等の提出物の内容 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動技能向上に向けた取り組み方の観察 ・ 安全に運動を実践するための考え方や判断力 ・ ペアワークやグループワークでの発言や取組の観察 ・ 学習カードの記述の分析 ・ レポート等の提出物の内容 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯にわたる運動実践のため、自ら考え、積極的に行動する態度の観察。 ・ ペアワークやグループワークでの発言や取組（他者や仲間への関わり方等）の観察 ・ 学習カードの記述の分析 ・ レポート等の提出物の内容 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」「B：おおむね満足できる」「C：努力を要する」 で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業 時数	領域	教材	学習活動(指導内容)	評価方法
4	体づくり運動	18	体づくり運動	教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> 授業に関わる内容、目標を理解させ、統制の取れた動きを実現するために、仲間と協力し、練習の仕方や号令のかけ方を工夫することができるようにする。 本校の伝統である学校体操の特性を理解し、全員で協力しながら体力を向上させる。 運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動に親しんでいく基盤となる活動を行うことができるようにする。また仲間と交流しながら主運動につながる活動を行う。 	観察 学習カード等
5						
6	選択①	22	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技 器械運動 ダンス 	教科書 副教材	<p>【陸上競技】</p> 陸上競技の歴史などを知り、記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決する楽しさや喜びを味わい体力を高めさせる。	技術テスト 観察 学習カード等
7	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技(走系統) 器械運動(マット) ダンス 					
8	陸上競技 (長距離)	13	陸上競技	教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> 長い距離・時間、体を動かし続けることを通して、課題を見つけ、その克服や体力の向上に努めさせる。 他の生徒を応援したり、その頑張りをリスペクトできるようになる。 	技能テスト (タイム計測) 観察 学習カード等
9						
10	体育理論	2	体育理論	教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ 	課題プリント

10	選択② ・ソフトボール ・テニス ・フットサル	22	球技 (ソフトボール型) (ネット型) (ゴール型)	教科書 副教材	【ソフトボール】 競技の成り立ちについて知り、基本的な技能を身につけ、自己やチームの課題を発見し、その解決のために話し合うなどし、克服と体力の向上に努める。	技術テスト 観察 学習カード等
11					【テニス】 競技の成り立ちについて知り、基本的な技能を身につけ、自己や他者の課題を発見し、その解決のために話し合うなどし、克服と体力の向上に努める。	
12	体育理論	2	体育理論	教科書 副教材	・ オリンピックとパラリンピックの意義 ・ スポーツが経済に及ぼす効果	課題プリント
12	選択③ バスケットボール バレーボール 卓球 バドミントン	24	球技 (ゴール型) (ネット型)	教科書 副教材	【バスケットボール】 競技の成り立ちについて知り、基本的な技能を身につけ、自己やチームの課題を発見し、その解決のために話し合うなどし、克服と体力の向上に努める。	技術テスト 観察 学習カード等
1					【バレーボール】 競技の成り立ちについて知り、基本的な技能を身につけ、自己やチームの課題を発見し、その解決のために話し合うなどし、克服と体力の向上に努める。	
2					【卓球】 競技の成り立ちについて知り、基本的な技能を身につけ、自己やチームの課題を発見し、その解決のために話し合うなどし、克服と体力の向上に努める。	
3	体育理論	2	体育理論	教科書 副教材	・ スポーツの高潔さとドーピング ・ スポーツと環境	課題プリント

計105時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

体育理論時においては、課題プリントの提出があります。

8 担当者からの一言

基礎体力の向上を図り、集団行動から規範意識と他者への配慮を学んでください。